

1	審議会名	令和2年度第3回上田市スポーツ推進審議会
2	日時	令和2年10月26日 午後5時から7時00分まで
3	会場	教育委員会 第1会議室
4	出席者	矢島会長、木島副会長、池田委員、木下委員、斎藤委員、縷澤委員、野口委員、 羽毛田委員、久田委員
5	市側出席者	中澤教育次長、池田スポーツ推進課長、青木丸子地域教育事務所長、宮崎真田 地域教育事務所長、樋口武石地域教育事務所長、清水スポーツ推進担当係長、 松澤スポーツ推進担当係長、矢島主査、田中主任、塚田主任
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和2年10月27日

## 協議事項等

1	開 会 (スポーツ推進課長)
2	<p>挨拶</p> <p>会 長 10月も残り一週間となり、急に冷え込み、紅葉が一気に降りてきている。 また、新型コロナの関係では、GoToの効果もあり、地域間交流が盛んになってきている。スポーツの分野でも、制限はあるが大会が開催され、少しずつスポーツが行われてきており、選手の元気な姿を見るとエネルギーをもらえると感じている。 今日は、スポーツ推進計画の数値目標や細かな施策など、計画のメインになる部分について御審議いただき、限られた時間ではあるが、計画の一番大事なところですので、いろんな角度から見ていただき、忌憚のない御意見をいただきたい。</p>
3	<p>議 事</p> <p>(1) 第二次上田市スポーツ振興計画(素案)について</p> <p>事務局 (説明:資料3「計画検討スケジュール」・資料2「計画概要」 ・資料1「第3章 4数値目標」・「第4章 具体的な施策 基本目標1・2」)</p> <p>委 員 数値目標の「直接現地でスポーツ観戦する割合」は、第2次長野県スポーツ推進計画より高い目標値となっている。ブリリアントアリーズや菅平高原等を更に活用して挑戦し、頑張ってもらいたい。 また、「スポーツ環境が整っていると感じる割合」の目標値については、計画されているテニスコートが令和6年に予定度通りに完成すれば達成できると感じた。</p> <p>事務局 「直接現地でスポーツ観戦する割合」は、現状のアンケート調査結果から高い目標値となっている。地域のスポーツ資源を活用し、「みる」スポーツの推進に取り組んでいく。「スポーツ環境が整っていると感じる割合」については、ソフト面とハード面を合わせて整備し、目標値に近づくよう取り組む。目標は若干高めに設定し、達成できなければ原因や足りない部分などを検証し、施策に生かしていきたい。</p> <p>委 員 目標に向かって努力し、目標に届かないことがないよう、各年度、きめ細かく評価・反省をしながら、スポーツ関係団体等を活用して取り組んでほしい。</p> <p>事務局 計画に基づき、どのような施策に取り組むのか、毎年、スポーツ推進審議会に経過や進捗状況を報告し、御意見をいただきながら必要に応じて施策を見直し、取り組んでいく。また、スポーツ関係団体やスポーツ推進委員会などとも、情報共有しながら連携して取り組む。</p> <p>委 員 市内の大学生が総合型地域スポーツクラブの存在を知れば、もっと運動がしやすくなると感じている。クラブとつなぐことをしないと、何も知らずに運動不足のままいる大学生が多いという現状がある。情報の出し方もあり認知度は低いですが、総合型地域スポーツクラブとつながることで、18歳から22歳の学生層の運動の拠点づくりができると思われる。</p>

基本目標2の「競技力の向上」、「(1) 長野国体等を見据えたアスリートの育成」について、具体的に強化する競技名を記載したほうがわかりやすいのではないかと。

事務局 選手の強化については、今年度から市が支援し、体育協会が中心となって取り組む計画である。具体的な強化方針等を盛り込むことについては検討する。

委員 基本目標2の「競技力の向上」、「(2) 競技環境の充実」、「①指導体制の整備」の3点目の文中、「学校での部活動からの競技力の向上に取り組みます。」との記述について、スポーツ庁からの通知もあり、競技力の向上は地域の競技団体を中心に行っていくよう整理していく必要がある。学校の部活動が競技力の向上を担うという発想を変えていくためにも、この部分の記述は替えるべきである。

事務局 御指摘の部分については、見直しを検討する。

委員 基本目標1、「(5) スポーツに親しむ機会の充実」の中で「②冬季イベントの充実」のところに、「長野県スキー大会週間」の誘致を盛り込むことを提案する。

事務局 盛り込むことを、検討する。

委員 基本目標1の「生涯スポーツの振興」の中に、中学生や高校生、大学生を対象としたものがなく、抜けた感じがする。カテゴリーとしてあっても良いのではないかと。

事務局 カテゴリーの調整や表現の方法について、検討する。

委員 「働く世代」は範囲が広すぎると感じる。年齢層的なくくりがあっても良いのではないかと。

事務局 全般的に変えていく必要も出てくるかもしれないが、表現等について検討する。

委員 計画には、具体的に「体育協会」などの名称を挙げた方がわかりやすいと感じるので、検討されたい。

また、基本目標2、(2)の具体的取組「①指導体制の整備」が絵に描いた餅にならないよう、しっかりフォローすることを考えてほしい。

事務局 (説明：資料1「第4章 具体的な施策 基本目標3・4」)

委員 基本目標4の施策「(2) スポーツによる交流の促進」か「(3) 地域資源を活用した交流拡大」のどちらかに、イタリアラグビー協会とのつながりも含め、イタリアとのつながりができたことから、同国との交流を盛り込まれたい。

委員 スポーツ施設について、「老朽化した施設を移転・集約し、複合拠点化した総合スポーツゾーンを整備する」という計画では、現在の中央地域の高齢者が運動する場所が失われていくのではないかと不安をもっている。高齢者や一人暮らしのお年寄りが気軽に運動できる施設も考えに入れ、すぐには無理でも計画として検討されたい。

事務局 施設整備計画を具体化する中での検討項目となるため、ここでは御意見として伺う。

委員 基本目標3の(3)、「②学校体育施設等の開放事業の推進」において、高校や大学などの学校開放事業はできないか。地域の拠点の一つとして考えられないか。

また、基本目標4の(1)、「②スポーツ推進委員活動の推進」について、今のスポーツ推進委員は地域のスポーツ関係のコーディネーターとしての役割が非常に大きいと思われるが、コーディネーター的な表現が弱いと感じる。もう少し強調したらどうか。

事務局 高等学校や大学などの学校開放事業については、所管が上田市以外であるため具体的な取り組みに入れることは難しいと考える。

また、高等学校の部活動は遅い時間まで行われており、現実的に学校開放を行う時間帯がないと思われる。

2点目のスポーツ推進委員の活動については、具体的にコーディネーターの役割を果たすことを盛り込むことを検討する。

会 長 1点目の高校の学校開放については、ウィークデーは運動部活動の時間の制限があり難しい。土日については、要請があれば県有財産の活用ということで貸し出しを行っている。活用は十分に可能なので、個々に各校に照会してほしい。

事務局 (説明：資料1「第5章 計画の推進」)

委 員 推進体制の中に「企業」が入っているが、企業はどのようにかかわるのか。また、地域貢献した企業に対する優遇策などの取り組みは考えているのか。

事務局 何らかのメリットについては、現段階では特に考えていない。企業との連携については、場所の提供や指導者などの人材雇用、ブリリアントアリーズの選手による指導などがある。今後、広げていければと考えている。

委 員 菅平高原に実業団の陸上チームがたくさん来ており、指導者の皆さんは、合宿の間に地元の子どもたちを教えたいとの意向を持っている。非常に有効なので、活用されたい。

事務局 計画に入れられるか検討する。

会 長 議事を終了し、事務局に進行をお返しする。

#### 4 その他

事務局 次回の審議会では、引き続き、第二次上田市スポーツ推進計画の素案について、御審議を賜りたいと考えている。

日程については、11月16日の週での開催を予定している。

#### 5 閉 会 (教育次長、スポーツ推進課長)